

授業 科目名	【G】	教育相談	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	教育相談			【H】2		【H】2	
	【I】	教育相談			【I】2		【I】2	
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目 【H】 教員の免許状取得のための必修科目 【I】 教員の免許状取得のための必修科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法							
サブ タイトル	教育相談の理論と方法				担当者	田中将之		
授業概要	【概要】	教育相談は、生徒指導とともに学校教育を支える重要な役割を担っている。その活動は、単なる悩みの相談を行うだけではない。生徒が自己理解を深めたり、好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。最初は、教育相談の意義・目的を学ぶ。「開発的な教育相談」の理論や実践演習、予防・治療的な「カウンセリング」の技法など、学校で行う教育相談について学ぶ。						
	【到達目標】	①教育相談の意義・目的を理解している。 ②カウンセリングの理論や技法について理解し、実際に学校現場で実践できるようになる。 ③「開発的な教育相談」に関する理解を深め、学校現場で実践できるようになる。						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【○】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	「心理学」、「教育心理学」、「学校臨床心理学」、「学習・発達論」を履修することを推奨する。							
教科書	必要によりプリントを用意する							
参考書	文部科学省『生徒指導提要(令和4年12月改訂版)』							
評価方法	授業中に指示するレポート課題又はテスト(70%)、受講意欲・グループワーク等を行う際の姿勢・態度、リフレクションカードの記述(30%)で評価する。なお、予告をせずにノート提出を求めることがあり、提出の有無・内容も評価に入れるものとする。							
フィードバック 方法	毎時の評価について、特に良好なものについては、リフレクションカードに良い面を記入して返却する。レポート提出期間経過後に評価ポイントを学生に伝える。テストについては評価の重要点を説明する。							
評価基準	S・A:授業内容をよく理解しており、応用力もある、B:授業内容を理解している、C:最低限の基礎力を備えている、D:基礎力が不足している、E:基礎力が著しく不足している、F:評価不能 欠席時数過多やテストを受けていない場合はF評定とする。							

授業 科目名	【G】	教育相談	区	分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	教育相談				【H】2		【H】2
授業回数	【I】	教育相談				【I】2		【I】2
授業回数	授業内容							
1	教育相談を学ぶ意義と課題 － 学校現場の今日的課題 － 予習: 学校教育相談について予習する 復習: 学校現場における今日的課題について整理する							
2	「生徒指導提要(改訂版)」の中の教育相談について 予習: 生徒指導提要を読む 復習: 生徒指導と教育相談について整理する							
3	思春期・青年期の発達課題と教育相談Ⅰ － 思春期・青年期の心理 － 予習: 思春期・青年期の心理面の特徴を予習する 復習: 思春期・青年期の発達課題について整理する。							
4	思春期・青年期の発達課題と教育相談Ⅱ － 発達課題と精神病理 － 予習: 思春期・青年期の精神病理について特徴を予習する 復習: 思春期・青年期の精神病理について復習する							
5	教育相談に関わる心理学の基礎理論と概念 予習: 心理学の基礎理論について予習を行う 復習: 心理学の基礎理論をまとめ、整理する							
6	教育相談における傾聴の重要性 予習: 教育相談に於ける傾聴の重要性についての予習を行う 復習: 傾聴についてまとめ、整理する							
7	精神分析の理論による心の理解 予習: 精神分析についての予習を行う 復習: 精神分析についてまとめ、整理する							
8	行動療法の理論による心の理解 予習: 行動療法についての予習を行う 復習: 行動療法的アプローチの必要性をまとめる							
9	担任が行う教育相談技法 予習: 担任としてどういう教育相談を行うことができるのか、調べる 復習: 担任が行う教育相談について整理する							
10	発達障害への理解と指導Ⅰ － 発達障害とは何か － 予習: 発達障害の定義と課題について調べる 復習: 発達障害について整理し、まとめる							
11	発達障害への理解と指導Ⅱ － 発達障害を有する生徒への対応 － 予習: 発達障害を有する生徒への対応法について予習を行う 復習: 関連機関との連携について整理し、まとめる							
12	児童虐待について考える 予習: 児童虐待についての予習を行う 復習: 児童虐待への指導の在り方について、まとめる							
13	不登校への理解と指導Ⅰ － 不登校をどう捉えるか － 予習: 不登校をどうとらえるのか、調べておく 復習: 不登校に関する捉え方を整理し、まとめる							
14	不登校への理解と指導Ⅱ － 不登校生徒への対応 － 予習: 不登校生徒の指導法について調べる 復習: チーム学校の意義についてまとめる							
15	本授業のまとめ、テスト 予習: これまでの授業内容を復習して、授業に参加する。 復習: テストで出題された事柄を、整理しまとめておく。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング型授業を実施することから、座席は指定します。 ・授業の順序、内容は受講者の反応を見極め、変更をすることがあります。グループ討論、演習には積極的に取り組むこと。 							